

退院した俺は、叶さんと浴衣で花火大会デートに来ていた。
花火の光に照らされた叶さんはめっちゃくちゃ可愛い。



しかし浴衣とは、初めてまじまじと見るが、
その生地が随分と薄いものなんだな。
そういえば、下着のラインが出ないように、
下には何も着ないと聞いた事がある...。
今日の叶さんはどうなのだろうか...

「叶さん…あの、浴衣の下ってどうなってるんですか？」

「浴衣の下…？」

「その、下着とか…」

「そ、それどういう意味ですか!?!」

「すいません!!つけてますよねブラとかパンツとか…ちゃんと…」

「…ちよつとコツチに…」

ん
かああっ…



叶さんは、人目につかない所まで来ると、
上をはだけけて、可愛い乳首を見せてくれた。

「う、うわ!!」

「上はつけてませんよ!!」

「じ、下は...?」

俺がそう聞くと、叶さんはゆっくり浴衣をズラし始めた...。

「ハッ」





「残念でした!!」
「あ、あはは!! そうですね!! いくらなんでも下は... はは...」
パンツは穿いていた。

ズ
ニ



「あの叶さん、俺、

叶さんのパンツ見て勃起しちゃったんですけど…。」

「えっ…。」

「ここ全然人目につかないし、暗いし…ちよつとだけ…。」

「そ、そんな…ダメ…ですよ…。」

「でも叶さんも、パンツにシミ作っちゃってるし…。」

「これは…。」

「あー♡」

「これはなんですか…?どういう事なんですか…?」
「そ、それは…」
「こんなに我慢汁出して、叶さんのおちんちんHしたがつてますよ。」
「言わないでください…!」



「あっ♡あっ♡」
「はあはあ、叶さん、すごいっ、締まるよ…っ♡」
「た、ただくん…っ♡待って、これじゃ…」
「誰かに見られたら…っ♡」

はあ

はあ

はあ

はあ

しっ♡しっ♡しっ♡
しっ♡しっ♡しっ♡

おちゅっ

おちゅっ

おちゅっ

「いいじゃないですか♡気持ちいいんだから♡
叶さんだってさっきからセンサー止まらないじゃないですか♡」
「違う!!違う!!早くイって、終わらせないと…っ♡」



「ああ俺いっぱい出そうです♡
叶さんのオマンコとうなじの汗のにおい、
たまらないです…♡うう…♡」
「やだっ…♡ペンタイ…！」

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

ちゅこ
ちゅこ
ちゅこ
ちゅこ
ちゅこ
ちゅこ
ちゅこ
ちゅこ
ちゅこ
ちゅこ

ほんっ♡
ほんっ♡
ほんっ♡
ほんっ♡
ほんっ♡
ほんっ♡
ほんっ♡
ほんっ♡
ほんっ♡
ほんっ♡

ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ



「あっ...♡あぁあっ♡♡」

びゅっ♡

びゅ

びゅ

びゅ

びゅ!

ぐわっ

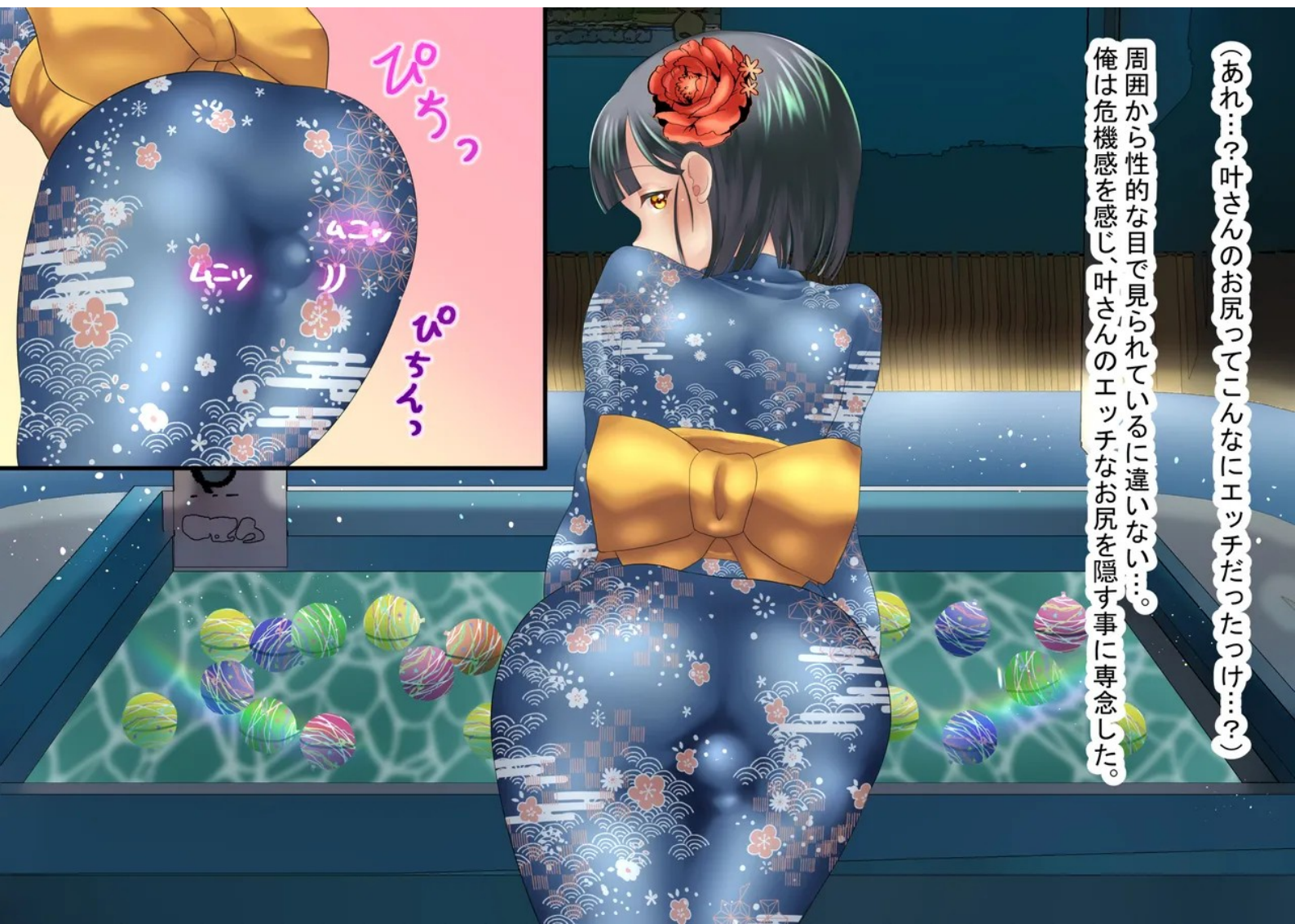
ぐわっ

ぐわ

ぐわ

一発抜いた俺たちは楽しく屋台巡りをしていたのだが、俺はヤバイ事に気が付いてしまった。





(あれ...? 叶さんのお尻ってこんなにエッチだったっけ...?)

周囲から性的な目で見られているに違いない...。
俺は危機感を感じ、叶さんのエッチなお尻を隠す事に専念した。

ぴちっ
ひちんっ





「ちよ、ちよつと多田くん…」

「はい…?」

「あの…僕のお尻に…当たってるんですけど…」

「…え!」

さっき抜いたばかりなのに、俺はまた勃ってしまった。





「ああんっ♡」
いよいよ盛りががついてしまい、
居ても立っても居られなくなったので、
俺たちは人っ気の無い神社の裏に急いだ。
浴衣の裾を上げると、やはり叶さんもピンピンだった。
俺は勢いよくじゃぶりついた。



ビクッ

ビクッ

♡ はあ

はあ

♡ はあ

はあ

はあ

♡

はあ♡

ガク

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ガク

ガク

ガク

さつきー生懸命扱いたからだろうか、
亀頭がパンパンに膨れあがって、
かなり敏感になってるようだ。
舌を絡めるとビクビクと跳ねるように感じている。
「あっ♡ダメえ♡それ、やあ♡」
足をガクガクさせて、立っているのが辛そうだ。



「じゃ、じゃあ、ナカイキにする？」
 口を離し、アナルに指を挿入。
 すぐに前立腺を発見した。

「うあ……♡」

「じっくり見ててあげるからオマンコで射精して「らん？」

「やだ…恥ずかしい…」

「今更何が恥ずかしいの？」

「だってお尻…弄られると…おちんちん勝手に…動く…んだもん…」

「ほんとだ♡オマンコの中擦ると、おちんちんがビクビク動いてるね♡」

「は、恥ずかしい…からあ…♡」



「大丈夫、大丈夫、恥ずかしくもないよ♡
叶さんがいっぱい気持ち良くなってるトコ見せて♡」
「あ……♡うう……♡」
「あ、前立腺が膨らんできた♡もうイキそう？
イク♡って教えて♡」
「ふ……♡うう……♡いく……♡」



あはれっ♡
あはれっ♡
あはれっ♡



♡ はあ

はあ

♡ はあ

はあ

はあ

♡

はあ♡

「はあ、はあ♡」

「手マンで女の子みたいにいつちやったね♡」

「あ…♡そんなこと…言わないで…♡」

「俺も早く叶さんのオマンコでめちやくちや気持ち良くなりたい…♡」

「うん…♡」

ドクッ

ドクッ



「こんな所…入っていいのかな…」
「大丈夫ですって…ちやんとお賽銭入れたし…五千円も！」
「そ、そういう問題じゃ…」
「叶さんごめん…！は、早く…っ！」

「あ…さきっぽ…入って…きたあ…♡」
「うう、お尻の穴が吸い付いてきますよ…!」

♡ はあ、 はあ♡
はあ、 はあ、
♡ はあ、 ♡
はあ ♡

ぷる

ぷる

ズ
ズ

ズ

ズズ…♡



「あ…全部入ったあ…おつきい…♡
多田くん…僕の…ナカ、気持ちいい…?」
「う、うん…やばい、すぐ出そう…っ!」

はっ♡

はっ♡

ぷる…

ぷる…

♡♡♡
アッ
ソ
ッ
♡♡♡





「叶さん、引き続き女の子イキしてみてください…♡」
「な、なに…、それ…」
「男の子のおちんちんには触らないで、女の子みたいに
おっぱいとオマンコでイってるところが見たいです♡」
「そ、そんな…あ♡」

は♡♡

は♡♡



俺は腰を上下に動かしながら、
両手を伸ばして叶さんの乳首を
「ひゃあ!!」
抓り上げた。

ビクッ

ビクッ

ぎゅあっ

ぎゅあっ

あかん



ビクッ

びくっ

「ああ、すごいね…コリコリだ…♡」
「あ…♡ダメ♡…コリコリしちゃ…」
乳首をコリコリすると、
叶さんのペニスからカウパーがあふれ出してきた。

コリコリ
コリ
コリ

コリコリ
コリ
コリ

びくっ
びくっ



「やああつ♡イク♡いつちやう♡」
「おまんこイクって言うって♡俺に女の子イキ見せて♡」

ビクッ

ビクッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

リッ

びん

ちゅぽっ

ちゅぽっ

ちゅぽっ



「はあ、はあ♡お腹いっぱい……♡」
「ああ……すごい、めっちゃくちや、良かった……、
女の子イキする叶さんすごくかわいかったです……でも……」
「……でも……？」

「やっぱり男の子だから、コッチでも気持ち良くなってください♡」
「ああー!!」



「ああ、やっぱり叶さんは男の子なんだ♡
おちんちんシコシコされてこんな悦んで♡」
「き、気持ち良いっ♡も、イク♡イキたいっ……!!」
「俺もイキそう♡」
「うん♡いいよ……っ♡きてっ♡僕の中にいっぱい出してっ♡」



ピクッ

♡

♡

♡

はちゅん♡

はちゅん♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅん♡

ちゅん♡

はちゅん♡

はちゅん♡



バク
バク
バク

バク

バク

バク

バク

バク

バク

バク

バク

バク

バク

「はあはあ、ああ…すい、中から出てきてる…♡
「これ、ちゃんとかき出さないと…、外歩けませんね♡」
「え…っ」





「ちよつと…、やあ…」
「わ♡すごいエッチな穴…♡ほらちよつとイキんで♡」
「えっ、そんな…、やだよ…っ」
「でも歩いてる時に出てきちゃったら恥ずかしいでしょ？」
「うう…」

とろっ♡
とろっ♡

「…っん」
「ああ…♡どんどん出てくる…」
「あんまり見ちゃダメ…」

ゴボ
オッ！！
びゅ、
びゅ、



「はあ、はあ♡」
「うん、キレイになった♡頑張ったね♡」
「う、うん…♡」

この後俺たちはデートを再開したが、
例によって何度も発情してやりまくった。







ん

がああっ…





ズミ



心あせす





ふんっ♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡



はあ、

はあ

はあ

はあ

しに♡しに♡しに♡
しに♡しに♡しに♡

す
ちゅ
♡

す
ちゅ
♡

お
ちゅ
♡

お
ちゅ
♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡



はあ

はあ

はあ

はあ

ちゅこ

ちゅこ

ちゅこ

ちゅこ

ちゅこ

ちゅこ

ちゅこ

ちゅこ

ちゅこ

ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん

ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん

ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん

ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん

ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん

ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん

ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん
ほん

が
が
が
が
が
が
が
が
が
が

が
が
が
が
が
が
が
が
が
が

が
が
が
が
が
が
が
が
が
が

が
が
が
が
が
が
が
が
が
が

が
が
が
が
が
が
が
が
が
が



ぴゅっ♡

ビュ

ビュ
ビュ
ビュ

ビュ
ビュ
ビュ

ビュ!

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ム
ム

ム
ム















ピクッ

ピクッ

♡ はあ

はあ

♡ はあ

はあ

はあ

♡

はあ♡

が

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

が

ちゅ

が

が











♡ はあ、 はあ♡
はあ、 はあ、
♡ はあ、 ♡
はあ ♡

ふり
!!

ふり
!!

グ
グ

グ
グ

ググ...♡



は

っ♡

はっ

はっ♡♡

はっ



ピクッ

びくッ

ぎゅあッ

ぎゅあッ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん



ビクッ

ビクッ

ニク
ニク
ニク

ニク
ニク
ニク

びく
びく

びく





ツキ

ツキ

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ニク

ハハ

アハ

アハ

アハ





ビクッ
〜
〜

〜

〜

〜

〜

ちゅっ♡ちゅっ♡♡
♡ちゅっ♡ちゅっ♡♡
ちゅっ♡♡
♡ちゅっ♡♡





ピクッ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

はちゅん

はちゅん

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅん♡

ちゅん♡

はちゅん

はちゅん



クワッ
ム
ム
ム

ム

ム
ム
ム

ム
ム
ム

ム
ム
ム

ム
ム
ム

ム
ム
ム

ム
ム
ム

ム
ム
ム

ム
ム
ム







ゴボ

オッ!!!

びゅ,

びゅ,



ド

ド

ド

























































































